

■ 会社概要 (2011年9月30日現在)

商 号 株式会社マネーパートナーズグループ
 U R L <http://www.moneypartners-group.co.jp/>
 本 社 所 在 地 東京都港区六本木一丁目6番1号
 代 表 者 名 代表取締役社長 奥山 泰全
 設 立 2005年6月10日
 資 本 金 17億8,622万円
 従 業 員 数 17名 (連結：111名)
 関 係 会 社 株式会社マネーパートナーズ
 株式会社マネーパートナーズソリューションズ
 事 業 内 容 持株会社としてグループ全体の株式を保有することにより、当社グループ全体の経営戦略、経営管理機能を担っています。

■ グループ企業紹介

●株式会社マネーパートナーズ

株式会社マネーパートナーズは、FX事業を中心として営む金融商品取引業者です。同社は一般顧客向けのFX事業に加え、金融商品取引業者向けに外国為替取引システムのホワイトラベル提供等を行っています。

●株式会社マネーパートナーズソリューションズ

株式会社マネーパートナーズソリューションズは、FXをはじめとする金融商品取引に関するコンピュータシステムの設計・開発等を行うシステム開発子会社です。

当社グループの支援活動についてのご報告

当社グループではCSR活動の一環として、2011年3月11日に発生した東日本大震災による被災者の救援及び被災地の復旧に役立てていただくため、義援金の寄付や復興支援ファンド社債の取得を実施いたしました。

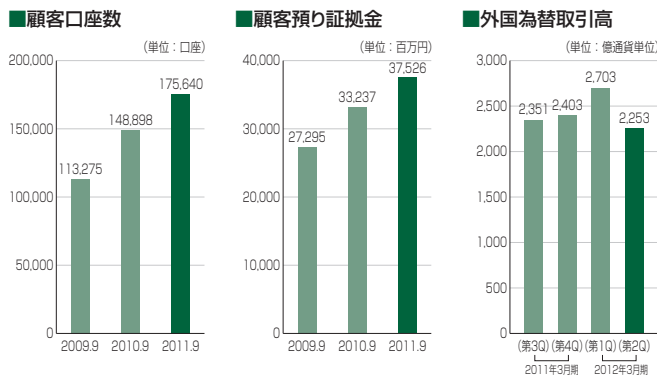
- ▶ 2011年6月 義援金300万円
- ▶ 2011年9月 合同会社東北早期復興支援ファンド1号 第1回1号社債2口 (5,000万円) 取得

被災地の一日も早い復興を、グループ役職員一同心よりお祈り申し上げます。

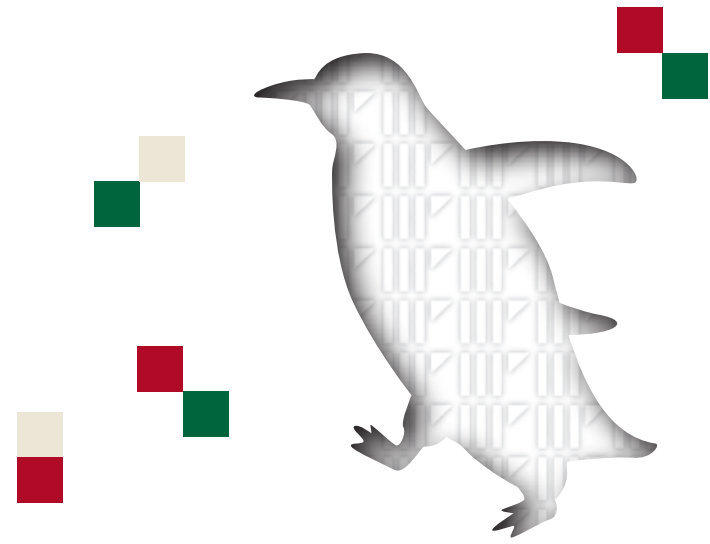
■ 当第2四半期(累計)の連結業績

■ 営業収益	3,949百万円
■ 経常利益	166百万円
■ 四半期純利益	136百万円
■ 総資産	49,478百万円
■ 純資産	9,528百万円
■ 1株当たり 四半期純利益	453円03銭

■ 事業データ



(注) 顧客口座数、顧客預り証拠金・・・各第2四半期末時点の口座数、預り証拠金残高
 外国為替取引高・・・各四半期毎の3ヶ月間の取引高
 なお、それぞれの計数には、2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めて表示しております。



第8期 中間のご報告

(2011年4月1日～2011年9月30日)



III トップインタビュー



株式会社マネーパートナーズグループ
代表取締役社長 奥山 泰全

■ ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、本年3月の東日本大震災により、被災された皆様及びその関係者の皆様には改めて心よりお見舞い申し上げます。

ここに当社グループの第8期事業年度の中間業績（2011年4月1日～2011年9月30日）の概況についてご報告申し上げます。

当社グループは東日本大震災に伴う諸々の困難を業務運営上問題なく乗り越え、また震災の教訓から非常時等の継続性を考慮した態勢を整備しつつ、ゆるぎない業務運営を推進しております。国際金融市場においてはヨーロッパの金融危機が深刻化しており、外国為替市場においても史上最高の円高ドル安水準下での予断を許さぬ状況のもと、引き続き危機管理を十分意識した経営を行ってまいります。

今後も厳しい事業環境が続くものと予想されますが、一方で、外国為替証拠金取引（FX）をはじめとする外国為替取引、及びそれを中心とした金融商品の展開は今後のグローバル化の中で益々その必要性や存在感が高まっていくものと思われれます。株主並びに投資家の皆様におかれましては、この大きな発展性と成長性を持つFXというマーケット、そして外国為替についての社会インフラを目指す当社グループの未来にご期待いただきたく、今後とも何卒、叱咤激励とご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましてはより一層のご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

DON'T STOP!

当社グループは、「Don't Stop!」を社是とし、企業理念として掲げている「カスタマーファースト」「バリューアップ」「イノベーション」「コンプライアンス」の四つの基本コンセプトの実現に向けた取組みを継続的に実行し、かつ「止めない」ことを会社経営の基本方針としております。

ビジネスマッション

投資家の保護育成と顧客第一主義に努め、外国為替証拠金取引市場の健全な発展に寄与する。



1
上期の経営環境と
業績について
説明してください



A 外国為替市場は、足元、東日本大震災直後につけた史上最高の円高ドル安水準での保ち合いが続く状況となっております。しかしながら、上期を通してみれば円高でこそあれ市場に値動きは乏しく、総じて主要通貨のボラティリティが低調に推移した結果、上期のFX取引高は前年同期比約3.4%減となる4,957億通貨単位となりました。一方、業績面においては、取引高の減少に加え、昨年8月に実施されたレバレッジ規制をきっかけとする業界内の競争が一段と激化したこと等に伴い、上期の営業収益は3,949百万円（前年同期比22.3%減）、経常利益は166百万円（同79.3%減）と前年同期比減収減益となりましたが、顧客基盤の厚さやこれまでの営業施策、コスト削減への取り組み等により、減益ながらも赤字となることなく堅実な黒字を維持することができました。



2
レバレッジ規制後の
当社グループへの影響を
説明してください



A 昨年8月、本年8月と二段階にわたって実施されたレバレッジの規制を受け、FXは今後さらに一般の方が投資しやすい透明性の高い商品として、また実需面での利用なども含め多くの参加者に受け入れられる商品として認められていくものと考えております。

一方、レバレッジ規制による業界全体としての取引高の落ち込み等はほぼ想定範囲内に収まっており、今後の当社グループを含む主要業者のプレゼンスの向上や安定性、信頼度の増加が期待できることを考慮すると、中長期で見れば継続した成長性を示していける分水嶺を越えたものと確信しております。



3
新サービスについて
説明してください



A 本年3月末に開始した業界初となる成田空港での外貨受取サービスは様々なメディアで取り上げられ、順調にご利用者の増加を伴いつつ、これまでと異なる顧客層である実需からのFX顧客の獲得が徐々に実現しつつあります。また本年8月に新たな店頭デリバティブ取引として提供を開始した「金」及び「銀」のCFD（差金決済取引）は、順調な滑り出しを見せており、FXに次ぐ新たな商品としての成長を期待しております。

この他、10月に開始したスマートフォン対応の準備をはじめ、顧客サービスを向上させるための様々な取組みを進めてまいりました。下期においても引き続き厳しい競争環境となることが予想される中、他社商品・サービスとの差別化を一層進めることにより、より広い顧客層の獲得を目指してまいります。

株式の状況 (2011年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,080,000株
発行済株式の総数	321,480株
株主数	6,349名
大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
東短ホールディングス株式会社	37,500	12.44%
楽天証券株式会社	32,820	10.89%
メロンバンク エアードリーター クライアント オムニス	29,808	9.89%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	26,251	8.71%
野村信託銀行株式会社 (投信口)	10,882	3.61%
イテイク・アドサービスグループ マジック・ホールディング	8,910	2.96%
ジャフコV2共有投資事業有限責任組合	8,679	2.88%
北辰不動産株式会社	6,270	2.08%
伊藤 博 幸	3,630	1.20%
ザチエスマリットバンク エイロポシス エルオムニス アカウ	3,500	1.16%
大株主上位10名の合計	168,250	55.81%

(注) 1. 上記のほか、自己株式20,023株を保有しています。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しています。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	3月31日
	その他基準日を定める場合は、あらかじめ公告します。
配当金受領株主確定日	3月31日
期末配当金	9月30日
中間配当金	9月30日
公告方法	電子公告 http://www.moneypartners-group.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
事務取扱所	みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店

(ご注意)

- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、みずほ信託銀行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

配当について

当社は利益還元に関し、株主の皆様のご期待とご支援に一層応えてまいりたいと考えており、継続的かつ適正な利益還元を経営の重要課題と位置付けています。具体的には、年間の配当性向の目処を連結当期純利益の30%とし、中間配当及び期末配当の年2回実施することとしています。
2012年3月期の中間配当につきましては、上記の方針に基づき、1株当たり100円(配当金の総額30百万円)とさせていただきます。

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 2011年9月30日現在	前期末 2011年3月31日現在
資産の部		
流動資産	47,253	42,178
固定資産	2,225	2,284
有形固定資産	153	179
無形固定資産	1,230	1,286
投資その他の資産	841	818
資産合計	49,478	44,462
負債の部		
流動負債	39,950	34,973
特別法上の準備金	0	0
負債合計	39,950	34,973
純資産の部		
株主資本	9,530	9,423
資本金	1,786	1,786
資本剰余金	1,862	1,862
利益剰余金	6,741	6,635
自己株式	△860	△860
その他の包括利益累計額	△2	△2
新株予約権	0	67
純資産合計	9,528	9,489
負債・純資産合計	49,478	44,462

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前第2四半期(累計) 2010年4月1日から 2010年9月30日まで
営業収益	3,949	5,081
金融費用	74	5
売上原価	7	23
純営業収益	3,867	5,052
販売費・一般管理費	3,688	4,238
営業利益	179	814
営業外収益	33	33
営業外費用	46	46
経常利益	166	801
特別利益	67	-
特別損失	46	21
税金等調整前四半期純利益	187	779
法人税、住民税及び事業税	41	332
法人税等調整額	9	△6
少数株主損益調整前四半期純利益	136	453
四半期純利益	136	453

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

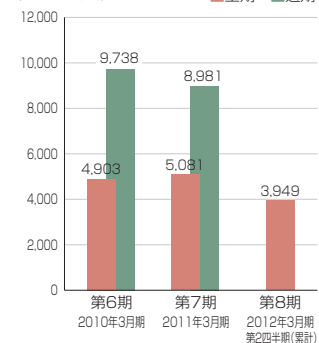
(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前第2四半期(累計) 2010年4月1日から 2010年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	37	1,797
投資活動によるキャッシュ・フロー	△219	△227
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30	△139
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△213	1,430
現金及び現金同等物の期首残高	4,495	4,164
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,282	5,595

財務ハイライト

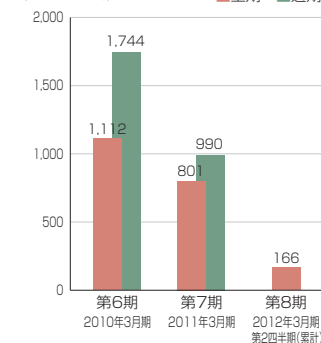
営業収益

(単位:百万円) ■上期 ■通期



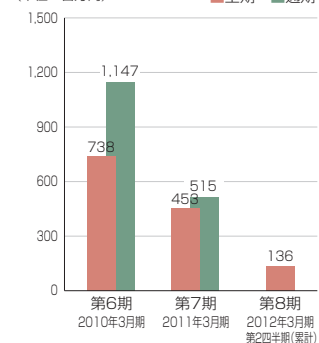
経常利益

(単位:百万円) ■上期 ■通期



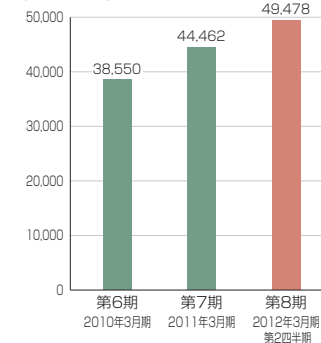
四半期(当期)純利益

(単位:百万円) ■上期 ■通期



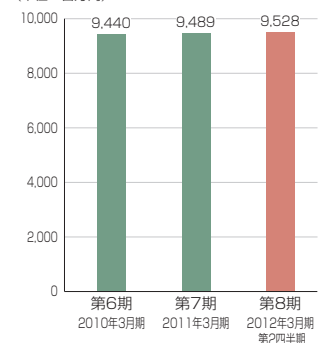
総資産

(単位:百万円)



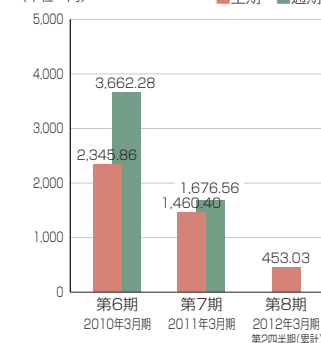
純資産

(単位:百万円)



1株当たり四半期(当期)純利益

(単位:円) ■上期 ■通期



※営業収益には、消費税は含まれておりません。

TOPICS

4/4

パートナーズFXnano サービス拡充

パートナーズFXnanoは「全通貨ペアスプレッド1銭」、「週を超えてのロールオーバー可能」など、大幅な仕様変更を行いました。

取引単位を100通貨単位として証拠金を少額に抑えるだけでなく、スプレッドを全通貨共通で1銭とするなど手軽さやルールの分かりやすさで、特にFX初心者の方に好評をいただいております。



5/21

9/17

各種取引ツールの バージョンアップ



5月、取引ツール『HyperSpeed NEXT』がバージョンアップし、バックテスト機能における複数パラメータを同時に実行できる機能等が追加されました。9月にはパフォーマンスが向上し、チャート画面と注文画面の連動機能等も実装されました。今後は、売買注文をコンピュータに自動執行させるシステムトレード機能を搭載する予定です。

10/18

『HyperSpeed Touch』公開!



パートナーズFX対応のスマートフォン用FX取引アプリ『HyperSpeed Touch』の公開が、『App Store』及び『Android Market』にて開始されました。マネーパートナーズの口座をお持ちでない方も、リアルタイムレート・テクニカルチャート等を無料でご利用いただけます。シンプルなのに高機能、最小限のアクションで全てを実行できる快適な操作性で提供しております。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

7/25

代用有価証券サービス 掛目70%へ

代用有価証券サービス

- ・代用掛目70%
- ・証券だけのFX取引が可能

パートナーズFXの建玉必要証拠金を有価証券で代用できる「代用有価証券サービス」における評価掛目(換算率)を従来の50%から70%へと拡大しました。これにより今まで以上に良い資金効率でFX取引ができるようになります。

8/13

証券取引サービス拡充

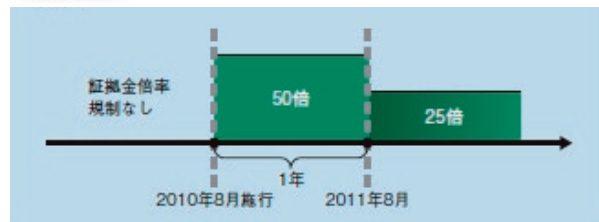


名証上場銘柄の取扱い開始や単元未満株の代用評価開始等、当社証券取引のサービスが拡充されました。

これにより、代用有価証券サービスの使い勝手が向上し、当社証券取引サービスそのものの利便性も高まりました。

8/1

レバレッジ規制施行 (25倍)



昨年(2010年)8月1日に施行された「金融商品取引業等に関する内閣府令の一部を改正する内閣府令(いわゆる「レバレッジ規制」)」に設けられていた1年間の経過措置(取引額の2%以上・最大レバレッジ50倍)が終了し、本年(2011年)8月1日より取引額の4%以上(最大レバレッジ25倍)の証拠金の預託を受けることが義務付けられました。

8/22

CFD取引 取扱い開始!



金/米ドル、銀/米ドルの2銘柄を対象としたOTC(店頭)対取引によるCFD(差金決済取引)である、「CFD-Metals」の取扱いを開始しました。

「CFD-metals」の特徴として、「取引手数料が無料」「1日の取引時間が23時間」「売りからも参入できるので下落相場でも収益チャンスがある」「ボラティリティ(変動性)が高く、収益チャンスが多い」「対象銘柄の金・銀は、工業品・宝飾品としての需要が高い注目銘柄」等があり、優れた商品性で提供しております。